

科目名	課題研究	単位数	3単位	学科・学年	農業総合 科 3年	
使用教科書	なし			副教材等	なし	
目 標	<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。</p>					
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①知識・技能	農業に関する様々な学習内容や、作業の目的及び理論的な裏付けが理解できたかどうか、要求された作業レベルに対して満足できる技術が身についている。				
	②思考力・判断力・表現力	農業に関する様々な学習内容や、実習時に指示された作業内容を、自分なりに考えて実行に移せるかどうか、また、課題を解決するために得た知識を活用し、解決しようとする力が身についている。				
	③主体的に学習に取り組む態度	ノートや実習日誌において、学習した単元に対し、さらに強い興味関心を持ち、調査しようとする姿勢がある。				
		評価方法\観点	①	②	③	
		学習状況の観察	○	◎	—	自己評価の実施
ノート		—	○	◎	学習ノート	
実習・実習レポート		◎	○	◎	実習・レポート	
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
履 修 上 注 意	<ul style="list-style-type: none"> ・研究時は、学校指定の実習服で行うので忘れないこと。 ・いくつかのテーマの中から、自分にあったテーマをしっかりと考えて選択すること。 ・夏休み等の長期休業中にも研究を行う場合がある。 ・毎回研究レポートを記入し、定期的にレポートを提出する。 					

